

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 15名回答、回答率 83%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・広いスペースを使用する時は、机や椅子を移動させて安全性を確保している。
- ・法令上の人員基準を満たしているが、日によって配置人数に偏りがあり、人員調整を要することがある。

○業務改善

- ・児童通所前のミーティングにて、生徒の様子や療育の進め方等の情報共有や研修実施等を行い日々の改善に努めている。
- ・支援後のミーティングは実施できていないものの、その場での情報共有か翌日以降のミーティングにて情報共有をするよう努めている。

○適切な支援の提供

- ・中高生が利用する事業所の為、将来に向けての就労体験を設定し、日々支援を行っている。
- ・月ごとの療育活動テーマを設定し、療育内容が固定化しないよう努めている。
- ・個別支援計画の更新時だけでなく、日々のミーティングの中で、支援の様子の振り返り、面談内容の共有、今後の支援方針を検討し、適切な支援が提供できるよう努めている。
- ・療育後の振り返り、定期的な見直し・修正が不十分であり、改善が必要である。

○関係機関や保護者との連携

- ・生徒の発達の状況や課題については、保護者と密にコミュニケーションをとり、共通理解を持てるように努めている。
- ・保護者様の承諾を得た上で、必要な際には学校とも直接連絡をとり、連携を行っている。
- ・障害福祉サービス事業所等の関係機関とは、必要な際は連絡を取り合っているものの、定期的な情報共有等はできておらず、改善が必要である。

○保護者への説明責任等

- ・ニュースレターで前月の活動報告と次月の活動予定をお知らせしている。

○非常時等の対応

- ・月一回の避難訓練は、地震・火災・水害・不審者等様々なケースを想定して実施している。
- ・ヒヤリハット報告書の作成、周知が十分ではないため、改善が必要である。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・活動スペースについては、9割の方から「はい」との回答を頂いたが、「もう少し広いといいと思うが、立地なども考えると仕方ない」との意見をいただいた。
- ・職員の体制については、全ての方に特に問題はないとの意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・活動プログラムについては、「保護者のニーズに加えて職員の希望も反映されている」、「いろいろな取り組みには、感謝している」との意見をいただいた。また、一部マンネリ化しているとのお声もいただいたので、改善に努めていきたい。

○保護者への説明等

- ・「支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか」の間には9割のからから「はい」との回答をいただき、「面談や送迎時のフィードバックで、活動内容・様子・できたこと・今後の課題などを共有してもらっている」・「面談などでお話した内容がしっかり支援に取り入れられている」とのご意見をいただいた。

○非常時等の対応

- ・「避難訓練の様子などを共有してくれている」とのご意見をいただいた。

○満足度

- ・「事業所の支援に満足しているか」の間に関しては 9割の方から「はい」の回答を頂き、子どもは通所を楽しみにしているとの評価をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・生徒、保護者様にご安心いただける指導員の配置と連携・情報共有。
- ・生徒の個性や課題それぞれに合わせた支援内容、指導体制を整える。
- ・関係機関との交流・連携、保護者様との交流を図る。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・職員体制は1年間変わることなく運営ができた。保護者様との連携・情報共有については、連絡帳や面談等を通して、行うことができたと考える。
- ・就労を意識しての個別課題・集団療育に取り組むことができた。マンネリ化が懸念点となるため、次年度は定期的に会議を行い解消をしていく。
- ・相談支援事業所などとの情報共有を行うことができた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・生徒1人1人に合わせた細やかな支援ができていること。
- ・就労や自立した生活に向けて、必要な知識や心構え、他者との関わり方や職業体験など、幅広い経験ができるような課題や活動を設定し、支援していること。
- ・保護者様、関係機関と定期的にコミュニケーションをとり、生徒の状況や課題、要望等を伝え合うことができていること。

○改善点

- ・定期的に支援の振り返り、課題の見直しや修正を行う。
- ・ブログの更新や個別課題の達成度の共有の場を設定し、開かれた事業所づくりを目指していく必要がある。
- ・関係機関への訪問や電話等を行い、定期的に情報交換を行っていく必要がある。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・安心、安全に通え、就労・自立に向けた課題や支援を提供する等、質の高い療育を実施していく。
- ・近隣教室や関係機関との交流・連携を図る。
- ・保護者様との交流、支援の提供を実施していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・安心して通所していただけるよう、連絡帳や送迎の引き渡し時、家庭連携等を通して、課題の達成状況などを共有していく。
- ・児童の課題それぞれに合わせた支援内容についての検討会を行い、より質の高い療育を実施していく。
- ・児童に関わる機関(保護者・学校・相談支援事業所・移動支援等)と連携を図り、地域で児童を見守る体制の構築を図る。